

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成29年4月27日 (2017.4.27)

【公開番号】特開2015-227549(P2015-227549A)

【公開日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-112909(P2014-112909)

【国際特許分類】

E 0 3 D 3/00 (2006.01)

E 0 3 D 1/28 (2006.01)

E 0 3 D 5/01 (2006.01)

E 0 3 D 5/10 (2006.01)

【 F I 】

E 0 3 D 3/00

E 0 3 D 1/28

E 0 3 D 5/01

E 0 3 D 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月21日 (2017.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジェットポンプ作用により洗浄水を便器本体に供給して洗浄する水洗大便器装置であって、

汚物を受けるボウル部と、このボウル部に洗浄水を導くための導水路とを備えた便器本体と、

この便器本体に供給する洗浄水を貯水する貯水タンクと、

少なくともその一部が上記貯水タンク内で水没した状態で配置されたジェットポンプユニットを有し、

上記ジェットポンプユニットは、その一端が上記便器本体の導水路の入口に接続され、その他端には吸引口が形成され、この吸引口が上記貯水タンク内の下部に位置するように配置されたスロート管と、このスロート管の吸引口に向けて洗浄水を噴射してジェットポンプ作用を誘発させるジェットノズルと、上記ジェットノズルから噴射される洗浄水の進行方向を上記スロート管の内部方向から上記スロート管の外部方向へと切り替える切替手段と、上記貯水タンク内に貯水された洗浄水の水位に応じ上下動するフロートと、上記フロートと上記切替手段とを連結する連結手段と、を備え、上記連結手段は、上記フロートをほぼ一定の姿勢に保持した状態で、上記フロートを上記切替手段に近接して上下に移動させ、上記フロートの上下動に応じて上記切替手段を作動させるよう構成されていることを特徴とする水洗大便器装置。

【請求項 2】

上記切替手段は、上記ジェットノズルから噴射された洗浄水の進行方向を切り替える切替弁と、この切替弁と接続される回動アームとを備え、この回動アーム部に設けられた第一回動軸を中心として回轉自在に構成されている請求項 1 記載の水洗大便器装置。

【請求項 3】

上記連結手段は、上記回動アームと、この回動アームと回転自在に連結され且つ上記フロートが配置される第一継手と、この第一継手と回転自在に連結され且つ上記スロート管とも回転自在に連結されている第二継手と、を有するリンク機構を備えている請求項 2 記載の水洗大便器装置

【請求項 4】

上記連結手段の上記リンク機構は、上記回動アームの上記第一回動軸と、上記回動アームと上記第一継手とを回転自在に連結する第二回動軸と、上記第一継手と上記第二継手とを回転自在に連結する第三回動軸と、上記第二継手と上記スロート管とを回転自在に連結する第四回動軸とを有し、

上記第一回動軸、上記第二回動軸、上記第三回動軸及び上記第四回動軸は、上記第一回動軸と上記第二回動軸とを結んだ仮想直線の長さと同じ長さとなるように配置され、さらに、上記第二回動軸と上記第三回動軸とを結んだ仮想直線の長さと同じ長さとなるように配置されている請求項 3 記載の水洗大便器装置。

【請求項 5】

上記連結手段の上記リンク機構は、上記フロートが配置される上記第一継手が、上記第四回動軸と上記第一回動軸とを結んだ仮想直線に対してほぼ平行に移動するように構成されている請求項 4 記載の水洗大便器装置。

【請求項 6】

上記ジェットポンプユニットは、さらに、上記フロートの取付け高さを上下方向に調整できる調整機構を備える請求項 3 乃至 5 の何れか 1 項に記載の水洗大便器装置。

【請求項 7】

上記調整機構は、上記フロートを取付け且つ上記第一継手に回転可能に支持される螺子部材を備え、この螺子部材を回転させることにより、上記フロートの取付け高さを上下方向に調整することができる請求項 6 記載の水洗大便器装置。

【請求項 8】

上記調整機構は、上記フロートをほぼ一定の姿勢に保持した状態で、上記フロートの取付け高さを上下方向に調整させることが可能である請求項 7 記載の水洗大便器装置。